

上関地点 2021年度 下半期の環境監視調査結果について

水質調査の結果は、管理目標値を満足していた。

陸生、海生生物については、過去の調査結果と比較して顕著な変化は見られなかった。

項目		調査時期	調査結果概要												
水質	陸域工事排水の水質	10月 7日	水素イオン濃度、浮遊物質ともに管理目標値内であった。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>調査結果</th> <th>管理目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水素イオン濃度</td> <td>7.0~7.3</td> <td>5.0以上9.0以下</td> </tr> <tr> <td>浮遊物質 (日平均値)</td> <td>5mg/L 以下</td> <td>150mg/L 以下</td> </tr> </tbody> </table>			項目	調査結果	管理目標値	水素イオン濃度	7.0~7.3	5.0以上9.0以下	浮遊物質 (日平均値)	5mg/L 以下	150mg/L 以下	-
		項目				調査結果	管理目標値								
		水素イオン濃度				7.0~7.3	5.0以上9.0以下								
		浮遊物質 (日平均値)				5mg/L 以下	150mg/L 以下								
		11月 2日													
12月 7日															
1月 6日															
2月 3日															
3月 8日															
陸生生物	ハヤブサ	2月25日 3月15, 29日	鼻繰島において、親鳥による抱卵行動を確認した。 なお、各月で雄、雌の親鳥を確認した。			写真1									
海生生物	潮間帯生物	11月18, 19日	植物ではヒジキ、イワノカワ科など30種、動物ではタマキビガイ科、カメノテなど43種を確認した。			写真2									
	海藻草類		ノコギリモク、サビ亜科など24種を確認した。												
	底生生物		サザエ、ムラサキウニなど4種を確認した。												
	スナメリ	10月, 3月 (週1回・計8日)	確認回数は計35回、延べ104頭を確認した。			-									
	カクメイ科等の貝類	10月7~9日※1 11月1~3日 3月3, 4日	カクメイ科の貝類は確認されなかった。 タイドプール※22箇所のうち1箇所は、岩盤の崩落があり、引き続き崩落の恐れがあるため、1箇所調査を実施した。			-									

※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から夏季調査を8月から10月へ延期した

※2 タイドプール:干潮時に海辺の岩場にできる潮だまり

【参考】

《環境監視調査計画以外の環境調査》

○ カンムリウミスズメ(写真3)

3月に延べ2個体(天田島の南東)を確認した。

○ カラスバト(写真4)

計画地点において、10月に鳴き声を確認した。

なお、鼻繰島においては、10、12、3月に姿および鳴き声を確認し、11、1月に姿を確認した。

《その他》

○ カクメイ科等の貝類調査において、11月にシラギク(環境省レッドデータブック(準絶滅危惧)を確認した。(写真5)

【調査写真】

写真1:ハヤブサ



(3月29日 左:親鳥(雄)、右:親鳥(雌))

写真2:海生生物(11月18, 19日)



ヒジキ



カメノテ



ノコギリモク



ムラサキウニ

写真3:カンムリウミスズメ



(3月14日 天田島)

写真4:カラスバト



(12月15日 鼻繰島)

写真5:シラギク(11月1日)



以 上